

アンジェス若手研究奨励賞

アンジェス若手研究奨励賞 2023

趣旨：遺伝子治療の研究開発の推進および遺伝子治療技術の普及と日本遺伝子細胞治療学会（JSGCT）活性化のために、将来の活躍が大いに期待できる若手研究者（45歳以下）に対して、「アンジェス若手研究奨励賞」を授与して顕彰すると共に、さらなる研究の発展を期待して研究助成を行う。

<表彰等>

- ・ JSGCT 学術集会総会において理事長が表彰すると共に、副賞（研究助成金）を授与する。
- ・ 研究助成金額：最優秀賞 500,000 円 1名
優秀賞 200,000 円 2名
- ・ 最優秀賞受賞者は JSGCT 学術集会において受賞講演を行う。

－ 公募・選考方法 －

1. 応募資格

- ・ 応募締切の時点で会員歴 1 年以上の JSGCT (旧 JSCT) 正会員で国内の公的研究機関に所属する研究者で研究活動に従事する者「常勤・非常勤は問わず」。
(※) 大学院生を含む。学部学生も含む。
寄附講座・社会連携講座・共同研究講座などの研究者も対象として認める。
- ・ 申請時において 45 歳以下である者。

付記：申請者が受け入れ、助成金の取扱は所属施設の規則に従う。

申請者が学生で就職した場合は、所属していた研究室が助成金を受け入れる。

申請者が異動した場合は、所属機関の規則に従う。

2. 応募方法：自薦とする。必要事項を記載した申請書（体裁を問わない）を JSGCT 事務局に審査対象の論文と共に電子メールに添付して提出する。なお、同一部署からの申請は 1 件に限る。
3. 公募方法：JSGCT ホームページで公募する。会員・評議員には電子メールで通知する。
4. 提出書類：申請書、及び審査対象となる原著論文の PDF ファイル。
5. 提出期限：2023 年 6 月 15 日(木)～7 月 14 日(金) 期限厳守ください。
6. 選考方法：褒章委員会が審査し選出する。
7. 経理報告書と研究成果報告書：
1 年後に提出し、最優秀賞受賞者は次年度の年次総会において講演を行う。

申請書に記載する内容

- ・ 氏名（署名捺印）、生年月日と年齢、所属、職名
- ・ 所属先住所、連絡先
- ・ 略歴（学歴・研究歴）
- ・ 所属部署の責任者（氏名・役職）による推薦文と署名捺印（他薦の場合）

- ・ 研究テーマ
- ・ 審査対象の原著論文3報（タイトル・著者名・雑誌名・ページ・発表年）
付記①：アクセプトされた論文で、印刷されていなくても電子版に出ていればよい。
付記②：JSGCT 学術集会での発表の有無は問わない。
- ・ JSGT 年学術集会での発表年・発表形式（口頭・ポスター等）
- ・ 研究成果（審査対象の原著論文の内容を中心とした研究成果を1,200字程度）
- ・ 本研究の学術的特色と独創性及び発展性（600字程度）
- ・ 今後の研究計画（今後1年間とそれ以降に分けて、全体で1,000字程度）
- ・ 研究業績（原著論文、総説論文、学会発表）

公募書類提出方法：電子メール/添付でお送り下さい。
電子メール：JSGCT事務局 Email: maf-jsgct@mynavi.jp

提出締切日：2023年 7月14日（金）

お問い合わせ先：JSGCT事務局
Email: maf-jsgct@mynavi.jp

以上

日本遺伝子細胞治療学会
理事長 森下竜一